

「市の様子～富山市のいろいろなのりもの～」

○ 学習のねらい

富山市内にある様々な公共交通の種類や広がり調べ、市の特色やよさについて自分なりの考えをもつことができる。

○ 対象学年・教科

3年生 社会「市の様子」

学習指導要領での位置づけ

内容(1)ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 身近な地域や自分たちの市の様子を大まかに理解すること。

(イ) 観察・調査したり地図などの資料で調べたりして、白地図などにまとめること。

内容(1)イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 都道府県内における市の位置、市の地形利用、交通の広がり、市役所など主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などに着目して、身近な地域や市の様子を捉え、場所による違いを考え、表現すること。

交通の広がりに着目するとは、主な道路や鉄道の名称や主な経路などについて調べることである。

○ 時間数

2時間(単元は12時間)

| | |
|----|--|
| 1 | 市の地図を見て |
| 2 | |
| 3 | 市のさまざまな様子を調べよう |
| 4 | |
| 5 | 市の様子調べ①(交通について調べよう) (モビリティ・マネジメント教育の一環として取り上げる) |
| 6 | |
| 7 | 市の様子調べ② (地形や自然条件、土地利用について調べよう) |
| 8 | |
| 9 | |
| 10 | 市のしょうかいをしよう |
| 11 | |
| 12 | |

○ 準備物

プロジェクター、スクリーン、実物投影機

○ 授業概要

1時間目 富山市にあるいろいろな乗り物の種類について資料をもとに調べ、どんな場所を通っているか考える。

2時間目 富山港線(旧富山ライトレール)の資料をもとに、公共交通の大切さについて考える。

※公共交通機関の利用体験をするのもよい。

■授業の展開例（1時間目）

| | 学習活動 | 指導上の留意点 |
|-----|--|--|
| 15分 | <p>1.公共交通の様子を資料からとらえる。</p> <p>■指示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童用パンフレットの地図と写真を見ましょう。 <p>■発問1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富山市にはどんな種類の乗り物が走っていますか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・資料を見る際に次の点を明らかにして、必要なことととらえることができるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ○自分たちの学校があるところほどの辺りか。 ○地図の色のちがいは何を表しているか。 ・土地の様子が想起できるように「わたしたちの富山市」も活用する。 ・資料の読み取りだけに終わらないように、「乗ったことがある」、「見たことがある」、「家族が利用している」などの生活経験を聞き出すようにする。 ・たくさんの人が利用する乗り物＝「公共交通」という用語を指導する。 |
| 20分 | <p>2.土地利用と公共交通の関連を話し合う。</p> <p>■発問2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通はどんなところを走っていますか。市の様子とくらべながら説明してみましょう。 | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの発言を次のような観点で類型化し、板書していくようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ○土地の様子と関連させている。 ○土地利用と関連させている。 ○働く人と関連させている。 ・市の中心部にはセントラムやバス、その周辺の住宅の多いところには路面電車やバスが走っており、さらにその周辺の田や畑が多いところではバスだけしか走っていないところもあることに気付くようにする。 ・市の中心部に公共交通が多い理由に気付くようにする。 |
| 10分 | <p>3.今日の学習の感想をノートにまとめる。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通は多くの人のからしとつながっていることを示し、次時へのつながりとする。 |

■授業の展開例（2時間目）

| | 学習活動 | 指導上の留意点 |
|-----|---|--|
| 15分 | <p>1.公共交通の役割について考える</p> <p>■指示1 富山港線（旧富山ライトレール）とJR富山港線の写真を比べてみましょう。</p> <p>■発問1 写真を比べて気付いたことを発表しましょう。 ○通勤や通学の人が利用している。 ○新しい富山港線は色もきれい。座席や車内もきれい。 ○工場へ勤めに行く人や、市の中心部へ行く人が利用していると思う。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・児童用パンフレット裏面の資料を使用する。 ・車両の外観や利用する人の様子が分かる写真を提示し、どんな人が何のために利用しているのか考えさせるようにする。 ・公共交通の大切さに十分気付くことができるように、利用している人の気持ちも考えさせるようにする。 ・JR富山港線の存続が危ぶまれていた事実があることを伝える。理由として、自家用車の普及による利用者の減少があることも教師から伝える。 |
| 10分 | <p>2.公共交通の大切さについて話し合う。</p> <p>■発問2 公共交通がなくなったらどうなるでしょう。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・運転免許のない人（学生、高齢者も含む）の立場に気付くことができるようにする。 ・「くしとだんごのまちづくり」の用語を提示し、多くの人が行きたい場所に行けるように公共交通が整備されていることをおさえる。 |
| 10分 | <p>3.富山港線（旧富山ライトレール）の特徴を知り、興味をもつ。</p> <p>■発問3 富山港線（旧富山ライトレール）についてどのようなことが分かりましたか。（児童用パンフレットで説明後）</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・児童用パンフレットを活用し、富山港線（旧富山ライトレール）のよいところに気付くことができるように助言する。 ・令和2年3月21日から富山港線（旧富山ライトレール）は市内電車と接続したことについて教師から説明してもよい。 |
| 10分 | <p>4.富山市の乗り物についての学習の感想をまとめる。</p> | |